会　議　録

会　議　名		令和８年度第１回３市ごみ減量推進市民会議
事　務　局 （担　当　課）		国分寺市ごみ減量推進課、日野市ごみゼロ推進課、 小金井市ごみ対策課
開 催 日 時		令和８年７月 29 日（水）午後２時～
開 催 場 所		日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設２階多目的室
出席者	委　　員	＜出席者：15 名＞ （学識経験者委員）宮脇委員 （日野市委員）新井委員、小松原委員、加藤委員 （国分寺市委員）永本委員、山中委員、鴇田委員、森田委員 （小金井市委員）井上委員、片柳委員、光明委員 （行政委員）小澤委員（日野市）、栗原委員（国分寺市）、 西村委員（小金井市）、 岡本委員（浅川清流環境組合）
	委嘱式出席部長	（日野市）井上クリーンセンター長 （国分寺市）島﨑建設環境部長 （小金井市）今井環境部長
	事　務　局	（日野市）志村ごみゼロ推進係長、河本主任 （国分寺市：）増田ごみ減量推進係長、和智主任 （小金井市）越減量推進係長
欠席者		高松委員（日野市委員）、牧野委員（小金井市委員）
傍聴者の可否		可　／　傍 聴 者 数　／　０人
会 議 次 第		１　委員及び事務局職員紹介 ２　３市ごみ減量推進市民会議について （１）　会議の公開について （２）　委員長及び委員長代理の選出について （３）　会議の目的等について （４）　小委員会の設置について ３　報告事項 ３市のごみ処理状況について ４　小委員会について ５　その他
会 議 結 果		別紙審議経過のとおり
提 出 資 料		別添のとおり
そ　の　他		

市民会議開催前に行われた委嘱式での３市部長からの挨拶

日野市クリーンセンター長（日野市）

皆様、こんにちは。日野市クリーンセンター長、井上です。本日は、お忙しい中、この会議にお集まりいただきましてありがとうございます。

また、皆様におかれましては、３市の清掃行政をはじめ、市政全般に渡り、ご理解、ご協力を頂き厚く御礼申し上げるところでございます。

廃棄物行政に関わる社会環境は、常に変化をしているところでございます。こうした中、日野市・国分寺市・小金井市においては、環境省が発表した令和６年度１人１日当たりのごみ排出量が、全国の人口10万人以上50万人未満の市町村の中で、それぞれベストテンに入っております。前年度と比較しても継続してごみの減量が図られているところでございます。こちらについては、３市市民の皆様の日頃からの各市のごみの施策に対してのご理解、ご協力の結果だと思っております。

このように、ごみの減量と取組について、全国でも有数の市である３市が一体となって取り組むことで、循環型社会の実現に向けて進んでいくことを期待しております。

また、本会議も、昨年度、令和７年度活動報告として、情報発信・環境学習グループにおかれましては「『生ごみ削減』啓発パンフレット」を作成、ごみ減量施策グループにおいは「冷蔵庫内チェックシート」を作成していただきました。

どちらも大変すばらしい出来栄えであり、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

本日のごみ減量推進市民会議では、委員の皆様方から、忌憚のないご意見を頂き、活発な会議となるようお願い申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

島﨑建設環境部長（国分寺市）

皆さんこんにちは。本日は、お暑い中、またお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。国分寺市、建設環境部長の島﨑でございます。

国分寺市の「もやせるごみ」につきましては、浅川清流環境組合において処理しておりますが、これは施設周辺の自治会の皆様、それから日野市民の皆様のおかげがあってということで考えてございます。ありがとうございます。

さて、この３市のごみ減量推進市民会議は、可燃ごみの共同処理をしている日野市・国分寺市・小金井市の３市の市民の皆様に、共同処理に関する情報発信や新たなごみ減量施策などを協議・検討していただきまして、３市へご提案していただく場となってございます。

令和６年・７年の市民会議におきましては、先ほど日野市のクリーンセンター長からご紹介がありました、「『生ゴミ削減』啓発パンフレット」それから「冷蔵庫内チェックシート」を作成いただき、大変感謝をしているところでございます。

３市のごみ量は、市民の方々の意識の高さがあり、その上、多摩地域では３市とも上位となっているところでございます。共同処理を行うに当たりましては、さらなるごみの減量が必要となりますので、皆様から様々なご提案を頂きたいと考えてございます。

皆様から頂いたご提案については、行政施策として反映できるよう検討していくとともに、行政としましても責任をもって、さらなるごみの減量に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今井環境部長（小金井市）

皆様、こんにちは。前期から引き続き委員になられていた方もございまして、顔なじみかと思いますが、今期、小金井市の環境部長になりました今井と申します。

本日はお忙しいところ、令和８年度第１回３市ごみ減量推進市民会議にご参集いただき、ありがとうございます。

３市で設立した浅川清流環境組合、こちら、稼働７年目に入ったところ、この間、大きな事故もなく安定した稼働ができていることにつきまして、施設周辺にお住いの皆様をはじめとする日野市民の皆様及び関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

本会議も今期で５期目となります。４期目では、先ほど来ご紹介がありました日野市クリーンセンター長や国分寺市建設環境部長からもご紹介がありましたとおり「『生ごみ削減』啓発パンフレット」、また「冷蔵庫内チェックシート」といった大変すばらしい成果物を作成いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

小金井市といたしましては、本会議の成果、ご報告・ご提言はもとより、13年の長きに渡り、可燃ごみの処理を多摩地域の皆様にご支援いただいたことを忘れることなく、今後も日野市民の皆様及び関係者の方々のご負担を少しでも軽減できるよう、本市の基本理念であります「循環型都市『ごみゼロタウン小金井』～ごみを出さないライフスタイルへ～」というところの実現に向けまして、市民・事業者と一体となり「ごみの発生抑制」を最優先としたさらなるごみの減量及び資源化に取り組んでまいる所存です。

結びに、今期ご就任いただきました委員の皆様におかれましても、専門的な知識あるいは市民感覚を生かして、積極的なご意見等賜りますことをお願い申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

３市市民会議	
司会	委員長就任まで事務局で議事の進行を行う旨を説明 会議冒頭で会議は原則公開であることを説明し、傍聴希望者がいる旨を伝え、会議の傍聴の承認を得る。（傍聴者なし） １　委員・事務局職員紹介 委員の皆様から自己紹介と、この会議への意気込みなどを１分程度でお話しいただければと思います。日野市の委員からお願いいたします。
委員	ながらく、ペットボトルのリサイクル技術とか、企業の環境マネジメントを担当しておりました関係で、何か私の知見が役立てられるかなということでお願いした次第でございます。 生活インフラといいますか、環境というかごみ関係が電力とかガスとか水道とかに比べると、本当は上位に属するのですけれども、その３つがどうもインフラで取り上げられて、ごみ処理というのは大変なことなのだと、生活そのものなのだということを、皆様にどうやって伝えるかを検討していきたいと思っております。よろしくお願いします。
委員	日野市のごみを考える市民委員に参加していたご縁で、こちらの会にも参加してみないかというお声がけを頂きまして、また勉強のチャンスを頂いたかなと思って参加させていただきました。よろしくお願いいたします。

委員	今年に初めて委員にしていただきました。日野市で段ボールコンポストという「まちの生ごみを考える会」というところに所属しておりまして、やっていることが少しでも反映できたらなと思って。ごみ袋の４割ぐらいは生ごみですので、それが少なくなると大分焼却も減るのではないかと思っています。 日野市に来て28年くらいなのですけれども、とても自然が多くていいところに来たなと思っています。この時代にきて、23区もごみの焼却について考え出されたので、多摩地域としてもっと前進できたらなと思います。よろしくお願いします。
司会	続きまして、国分寺市お願いいたします。
委員	私自身はそんなに知見はないのですが、海外経験が結構ありまして、海外での知見を何らかの形でお役に立てさせていただければありがたいなという意味合いで参加させていただいております。どうぞよろしくお願いします。
委員	私の場合は、仕事を辞めてからいろいろボランティア活動をやって地域の皆さんに貢献していこうというのがもともとあって、いろいろな活動をしているのですけれども、３Ｒ講座というのが目に留まって、それを通じて国分寺市の廃棄物減量等推進委員会にも入らせていただいています。 今回、初めてこの会議に参加しますので、どうぞよろしくお願いします。
委員	この会議には去年に引き続き２回目の参加ということでございます。日頃は国分寺市廃棄物減量等推進委員会という団体で活動して、これは市と協働して国分寺市のごみを減らすということと資源化を推進する活動で、そのほかに市民への啓発・啓蒙活動というのをやっております。
委員	前回に引き続き、皆さんと一緒にごみ減量を頑張っていきたいと思います。私は現在、お店をやっていまして、そこで団体で登録していまして、生ごみをごみとして出さないということをずっと続けています。 あと、皆さんが着ないような洋服とか、要らないものをごみにしないで、うちのお店の一角に無料で置いていただいて、それを皆さんに好きな方は持っていっていただくという、なるべくごみにしないように、そういう運動をずっとやっていまして、ごみには関心がありまして続けてやっています。どうぞよろしくお願いいたします。
司会	続きまして、小金井市お願いいたします。
委員	こんにちは。今回、初めて参加させていただいています。私は小金井市に50年近く住んでいて、２回、ごみのことで「えっ」「これ大変だ」と思ったことがありまして。１回目は、小金井市のごみというか多摩地域のごみは海ではなく、日の出町の最終処分場に捨てられているということを初めて知った、まだ若いかった主婦の頃です。そのときに、「加害者なんだ、私たち」と思ったもので、これはごみを減量するしかないなということで、多摩地域全体のごみを減量する活動をしているグループにずっと

	入っていました。多摩地域のごみがどんどん減っていくのをずっと見てきました。 ２回目は、小金井市のことですので、焼却炉が老朽化して使えてなくなって、いろいろなほかの地域の焼却場に持って行って燃やしてもらったという時代が長くあって、そしてとうとう日野市の方にご迷惑をおかけしながら、こちらに運び込むことができて、今、小金井市民はほっとしてしまっているところがありまして、これはまたこれでいけないと、ごみ焼却炉は寿命がありますし、そんな思いがあって、こちらに参加させていただきましたので、よろしくお願いします。
委員	はじめまして。小金井市より初めて参加させていただくことになりました。小金井市にある東京学芸大学の３年生で、小金井市のごみ問題、小学生の頃からずっと触れておりました。今回、委員を務めさせていただくことになり、より多角的な視点からごみ問題に関わらせていただく貴重な機会を頂けてとても感謝しております。 若輩者でまだ知識も不足しているところがありますが、何とぞご指導、ご鞭撻のほど頂けますと幸いです。よろしくお願いいたします。
委員	こんにちは、３市は前回もやらせていただきましたので、今回２期目になります。私も仕事はもうしておりませんけれども、それまではプラスチックを作るもとの生産機械のメーカーで業務をしてまいりました。趣味は山登りなのですけれども、山に行って気になるのは、プラスチックごみなのです。木とか紙は自然に返ります。プラスチック、金属もありますが、今まで僕の仕事って何だったのだろうなとすごく悲しい思いがしています。 そんなこともあって、小金井市のごみゼロ、名前を忘れてしまいましたけれども、ボランティアの団体がありまして、そこに席を置いていたところ、いろいろなご縁でこの３市に、小金井市から「今年もまたやってください」と、前回の働きが充分じゃなかったという、多分ご指摘があったのかなと思って、この２年も頑張らないといけないという思いで今日、お伺いしました。よろしくお願いいたします。
司会	続きまして、学識経験者委員の宮脇委員よりご挨拶を頂きます。
宮脇委員長	明星大学の宮脇といいます。常々、大学では環境分野の部署に所属しておりまして、授業は廃棄物学というちょっと珍しい名前で、ごみの処理ですとか、技術的な話と法令関係のことを学生に教えている者でございます。 日々、学生に説明しているのですけれども、なかなか理解が進まず、レポートを提出しても伝わっていないことが多いので、人に物事を伝える、大事な要点をどのようにうまく伝えるのか、まだまだ未熟なところはあるのですけれども、ぜひいろいろ皆様のお話を伺って、一緒に学ばせていただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
司会	続いて、行政委員の紹介となります。浅川清流環境組合の岡本課長よりお願いいたします。

岡本総務課長（浅川）	浅川清流環境組合、総務課長の岡本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
小澤ごみゼロ推進課長（日野）	皆様、改めましてこんにちは。日野市ごみゼロ推進課長の小澤でございます。引き続きよろしくお願いいたします。
栗原ごみ減量課長（国分寺）	皆さん、こんにちは。国分寺市建設環境部ごみ減量課長の栗原です。私、この４月からごみ減量課になったのですが、その前はごみ減量推進課ということで、今年度から課名を改めて、新しく変わりました。心機一転、もう一度やっていこうかなと思っています。 こちらの職につきましては５年目になりますので、皆様方のご意見等お聞きしながら、会議をうまくまとめていければいいかなと思っているところでございます。どうぞよろしくお願いいたします。
西村ごみ対策課長（小金井）	小金井市のごみ対策課長、今年の４月から着任しました西村でございます。前期に引き続き委員をやっていただく方々、引き続きよろしくお願いいたします。それから新しくなられた方々、私も４月から着任しまして、いろいろと学ばせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
司会	続きまして、事務局をご紹介させていただきます。 国分寺市ごみ減量課ごみ減量推進係長：増田 国分寺市ごみ減量課ごみ減量推進係：和智 日野市ごみゼロ推進課ごみゼロ推進係長：志村 日野市ごみゼロ推進課ごみゼロ推進係：河本 小金井市ごみ対策課減量推進係長：越 ２　３市ごみ減量推進市民会議について
司会	（１）会議の公開について この会議については原則公開とさせていただきます。そのため、会議の傍聴を希望される方がいる場合は、特に問題がなければ傍聴を認めることとなります。その場合は、あらかじめ会議の冒頭で傍聴の可否を確認することとします。 また、会議の会議録については、一語一句を記録する全文記録よりも、発言の趣旨をまとめた要点記録形式の方がより意見を出しやすいのではと考えておりますので、そのように作成をさせていただきます。 また、発言者の氏名については、伏せた形で記録させていただきたいと考えています。要点記録としてまとめた内容が、発言の趣旨と異なる表現となってしまった場合は委員に修正等をしていただき、その後各市のホームページで公開いたします。 以上が会議の公開及び会議録についてとなります。ご意見、ご質問があればお願いいたします。発言の際は、発言の前にお名前をおっしゃってから発言をお願いしたします。 それでは、特にご意見はありませんので決定でよろしいでしょうか。 （「異議なし」の声あり）

	（２）　委員長及び委員長代理の選出について 　３市の市民委員の皆様におかれましては、活発な意見交換を行っていただきたいと思っております。そのため、会のコーディネーター的役割を担っていただける方に委員長に就いていただくほうが、意見交換がスムーズに行えると考え、学識経験者委員の宮脇委員に、前期に引き続き委員長をお願いできればと思います。 　また、委員長に緊急の事態等が発生した場合、委員長代理については、３市担当課長の中から当該年度の幹事市の担当課長を委員長代理とすることとしております。ちなみに令和８年度は国分寺市が幹事市となりますので、国分寺市ごみ減量課の栗原が担わせていただきます。 　このことについて、ご意見・ご質問があればお願いいたします。 　（「異議なし」の声あり） 　委員長をお願いいたします宮脇委員長に一言ご挨拶を頂きたいと思います。よろしくお願いいたします。
宮脇委員長	皆様、こんにちは。委員長と申しますけれども、基本的にはコーディネーター役で司会進行をさせていただくことになると思いますので、ぜひ活発なご意見を頂きたいなと考えております。 　先ほど、廃棄物学という科目、20年間ぐらい教えてきたのですが、私立大学なもので、学生の募集が悪いとか学科がなくなるという必然がございまして、実は来年度、2027年度が最後の廃棄物学の授業になるということで、環境のコースなくなりまして、科学コース、物理・科学・機械・電気に集約という形になってございます。 　そのような中でも、名称が廃棄物学という特殊だというご意見を頂いて、内容は近くてもよいということでしたので、2028年度からは資源循環学という名前でやると言ったら、それは今風な名前でよろしいということだったので、名称を変える形で、とはいえ学生に伝える内容はこれからも長く頑張っていきたいと思っております。 　その中でも、ぜひ様々な意見をあちこちで聞いて、学ばないと若い人に伝わらないので、そういう意味でもこの会議の場は、私にとって非常に貴重な場でございますので、参考にもさせていただくということもご了解いただければと思っております。ぜひ、いい方向性が出てくるといいなと思っておりますので、幅広い視点で我々がごみ減量について考えていければと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。
司会	ありがとうございました。今後の進行につきましては、宮脇委員長にお願いいたします。
宮脇委員長	それでは、改めまして、この後の議事について司会進行させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 　（３）本会議の目的等について 　（４）小委員の設置について 　事務局よりご説明をお願いたします。よろしくお願いします。
事務局	まず所掌事項についてでございます。机上に配付させていただいたファイル、「３市ごみ減量推進市民会議に関する協定書」をご覧ください。この３市市民会議の設置の目的は、「３市で可燃ごみの共同処理を日野市ク

	リーンセンター内で行うことに伴い、共同処理を巡る日野市の置かれている状況、３市で締結した覚書内容、新可燃ごみ処理施設稼働に伴う情報等を３市の市民に情報発信し、理解浸透を図り、及び可燃ごみ量の更なる削減を推進するために環境に配慮した取組を協議・検討すること」でございます。 　所掌事項につきましては、「日野市クリーンセンター周辺の情報発信、３市覚書に関する情報発信、施設の現状や稼働状況に伴い３市が取り組むべきことに関する情報発信、市民及び行政が取り組む環境に配慮したごみ減量施策、その他協議・検討する事項」となっております。 　３市ごみ減量推進市民会議につきましては第５期になりますが、今期は３市で取り組むべき具体的内容など、より実効性・実現性の高い内容をぜひご議論いただきたく、全体会と小委員会でご検討をお願いいたします。 　続きまして、会議の開催回数についてでございます。 　この会議は、平成30年度に設置されましたが、例年、全体会議を３回程度、各小委員会を３回から５回程度開催しております。今年度は、全体会議につきましては、この会議のほか10月もしくは11月及び２月頃に小委員会における検討内容の中間発表を行うために開催することを想定しております。また、小委員会につきましては２つのグループに分かれていただき、各々のテーマについて、２か月に１回の開催程度で約５回を想定しております。 　続きまして、小委員会の設置についてです。昨年度は協定書の所掌事項にある情報発信とごみ減量施策を検討する２つのグループに各市２名ずつ分かれていただき、検討していただきました。 　委員の皆様からご意見が特になければ、今年度も同様に進めていきたいと考えております。なお、後ほどグループに分かれていただきまして、各グループのリーダー等を決定していただき、小委員会の開催日程や開催場所・検討する内容などについて話し合っていただければと思います。
宮脇委員長	事務局より、所掌事項、この市民会議の方針、小委員会の組立とか回数などをご紹介いただいております。これらのことにつきまして、ご意見・ご質問などございましたら、よろしくお願いします。いかがでしょうか。 　先ほど、平成30年、３市で市長が決めた協定書に、３市市民会議で、は情報発信、ごみの減量施策の２つに絞って、グループで検討してはどうかという提案です。いかがでしょうか。方針としてはよろしいでしょうか。 　（「異議なし」の声あり） 　ありがとうございます。特にご意見ないということでございますので、事務局から説明がありましたように、会議を全体的に進めてまいります。よろしくお願いいたします。 ３　報告事項　３市のごみ処理状況について 　３市のごみの処理の状況について、ご報告していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
事務局	「３市のごみ処理状況ついて」をご報告させていただきます。 　まず３市のごみ量を一覧表にさせていただきました。表の見方について、上から、各市の人口、総ごみ量、１人１日当たりのごみ量、その下が資源化率の比較という形になってございます。 　一人一日あたりのごみ量は、総ごみ量に集団回収資源を加えたものを一

	番下、総資源化量を、人口と日数365日で割ったものでございます。 資源化率は、総ごみ量に集団回収資源を加えたものに一番下の総資源化量を割ったものでございます。 ５行目以降のごみと書いてある、可燃ごみから有害ごみに至るまでのごみ量の内訳は御覧のとおりでございまして、その内の資源ごみの内訳ということで、紙類のところからその他資源までの量が資源ごみという形で表されているところでございます。 なお、それ以外にもエコセメントを実施しておりますので、このエコセメント化、プラス施設処理に伴って出る資源ごみについて御覧のような数字で資源化を図っておりまして、そちらを合計したものが資源化量としてお示しをしているところでございます。 それぞれ各市の特徴を申し上げますと、日野市につきましては、令和６年度分でございますけれども、全国で人口10万人から50万人未満の都市で、１人１日当たりのごみ量が、全国第１位を記録したところでございます。 こちらの資料につきましては、令和７年度の資料でございますが、多摩26市での比較になりますが、日野市につきましては第１位、国分寺市、小金井市が２位、３位と続いている状況でございます。 続きまして，国分寺市と小金井市についてでございます。御覧の数値のとおりでございますが、４行目にございます資源化率。資源化が高い自治体となってございまして、こちらの多摩26市で第１位と第２位を占める予定になっているところでございます。 また小金井市につきましては、数字は出ておりませんけれども、可燃ごみのごみ量、１人１日当たりのごみ量が多摩26市で第１位となっているところでございます。 多摩エリアにつきましては、この３市を含めて、資源化等ごみ量の減量等推進が高い地域となっているところが、特徴として見て取れるところでございます。 なお、今回の資料の内容につきましては、各市の分別方法、処理方法、処理委託ですとか、それぞれが相違しているところもございますので、単純に比較というところはできない部分もございますけれども、後ほど、お目通しいただければと考えているところでございます。
宮脇委員長	ご説明ありがとうございました。ただいま直近の３市の状況について、何か質問などございますでしょうか。
委員	資源化率のところで、２、３か月くらい前だったと思うのですが、Yahoo！ニュースで、人口が10万から50万未満の全国の自治体の中で、リサイクル率が鎌倉市が１位になって、国分寺市が２位という報道だったのですが、この表を見ると、小金井市のほうが資源化率が高いので、リサイクル率との関係がよく分からないのでご説明いただければと思います。
事務局	Yahoo！ニュースにつきましては、令和６年度の実績になります。資料の数字は令和７年度の実績ということでございます。 毎年、年度末に環境省でごみ量の調査を行った結果を公表しているところでございます。これは環境省のホームページにアクセスしますと、資源化率も人口10万以上50万未満の都市で、１位が鎌倉市、２位が国分寺市という形で令和６年度の実績となります。

	令和７年度つきましては、令和８年度中に国でデータを集計しまして、来年の３月頃、公表するという段取りになっております。タイムラグが出ている状況でございます
宮脇委員長	続いてお願いいたします。
委員	エコセメントに関心がありまして、エコセメントというのは焼却灰から作られているものと理解しているのですけれども、浅川清流環境組合で焼却した灰を持って行って、エコセメントにするのであれば、それぞれ市から出した量は分からないのではないかと思うのですけれども、それが３市それぞれの数字になっているところが疑問です。
岡本委員（浅川）	このエコセメント化の数値、浅川清流環境組合から循環組合に持っていった灰の量を、各市のごみ搬入量の率で割り返したものではないかなと思われるのですが。
事務局	そのとおりだと思いますので、そのような形でご理解いただければと思います。
宮脇委員長	可燃ごみの量を按分してそうです。
委員	可燃ごみは日野市と小金井市で比べると、小金井市が日野市の半分以上ですね。エコセメント化率を見ると。
宮脇委員長	粗大ごみとか不燃ごみの残渣類というのをそれぞれの市で若干処理の方法が異なっていて、可燃ごみだけで言ってしまったのですけれども、可燃ごみだけでないですね。
事務局	はい。
宮脇委員長	私も可燃ごみと言ってから、言われてみれば違うみたいな、おっしゃっていただいたとおりですけれども。 施設に入ってくる不燃ごみとして集まってきている施設ですけれども、一部の残渣は、このまま焼却炉に可燃分として運ばれていますので、その分があったりとか、多分、他市、国分寺市、それぞれ残渣の扱いが違っていますので、こちらに持って来ていない。 また次回までにデータを整えていただいたらいいかなと思います。ありがとうございます。 そのほかいかがでしょうか。何か気になる点。
委員	施設処理に伴う資源というのは、何を指しているのですか。
事務局	それぞれの市で施設を持っております。その際にクリーンセンター、小金井市ですと野川クリーンセンターとメタウォーターサスティナブルパークこがねいと両方あります。そこで、選別を行った中で、資源化できるものは資源化という形で処理をしている量を計上している形になります。恐らくプラスチックなどが含まれているものと承知しているところです。 例えば不燃ごみで回収したものの中にプラスチックなどが入っている。

	そのような状況で発生したものをカウントしているところです。 プラスチックの不燃資源化のものですとか、金属、小型家電とかそういった細かいものを総合した数字がこの数字になるということでございます。 主にプラスチックが施設処理に伴う資源の中で占めるものなのですけれども、そのほか、小型家電とか幾分入っているということで、他市との差は、他市の資源化処理方法が分からないので、そこは単純に比較できないかなと思います。
宮脇委員長	同じ施設に入れているのですけれども、可燃・不燃の中に出すものが微妙に違うのです。本当は将来的に考えなければいけないことがあるかと思いつつも、可燃ごみ処理施設は同じものを使いますけれども、不燃とか粗大についてはそれぞれ施設のタイプも違いますし、選別後のリサイクルの過程とか、排出先も全く違うので、すぐに統一できないところはあるかと思うのですが、また機会があれば何か情報提供をそれぞれの市からメンバーの方にしていただくと、将来的にすぐはできなくても、こういうことをしたら総量としては減らせるとか。 もちろん大きな目的は可燃ごみを減らしてというところもあるのですけれど、それ以外にも資源になるものをなるべく分けてごみ全体を減らすというのも、この３市市民会議の目的の１つであるかと思いますので、そのあたりも話題の中に取り込んでいけたらいいのではないかと、お話し伺って思った次第です。 そのほか何かございますでしょうか。数字の件とか質問、何でも結構です。分かりにくいところもたくさんありまして、分類ですね。
委員	文言なのですけれども、環境省がどのように指導しているのかよく分からないのですが、リサイクル率と再資源化率というのがございます。今の若い人たちというのは、どちらかと言うとリサイクル率のほうがピンとくるのかなと思うのですけれども、行政としては資源化率にこだわって今後とも表現するということに相成りましょうか。
事務局	行政の立場としては、これまでの蓄積といいますか、データの部分がございます。これを同じ物差しで測っていくという形になってまいりますと、資源化率ですとか総資源化量、資源ごみの内訳の中味に加えて、例えば集団回収とか、廃棄物として出したものが、資源化されているという形で、これまでも累計できている部分がございますので、今のところはリサイクル率という形での考え方を変えるという動きはまだ至っていないところでございますので、ご意見を受け止めさせていただくということで、今回だけはお許しいただければと思います。
宮脇委員長	なるべく漢字を使うというのがいいのではないかと個人的には思っているところです。リサイクルという言葉自体が、若い方、学生の委員の方もいらっしゃるので後でコメントいただければありがたいのですが、必ずしも片仮名で書いてあると何でもいいかというと、最近、本当に片仮名があふれていて、話が逸れてしまうと、世の中の使い方も片仮名だらけになっていますけれども、漢字で書いていただければ、若い方、実は「そんなことありません」と言われるかもしれませんが、漢字のほうが年代問わず、理解できると思うので、ここに書いてある資源化率と書いてあって、これ

	は分かりにくいという方は多分いらっしゃらないかなと思いますが。そういうのもあります。 あと、全国的にも自治体の基本計画とかの中でも、おおむね資源化率という言葉を統一して使われているようには思っているところです。 いかがですか、リサイクル率のほうが分かりやすいですか。
委員	私、教育学部なのですけれども、最近、文科省の学習指導案といって、生徒に教えるためのレシピみたいなものがあるのですけれども、それに片仮名がすごくいっぱいあって、結局これは何が言いたいのだろうみたいな、外来語にすることでぼやかせるという印象とかあって、資源化とぱっと言ってもらえたほうが分かりやすいかなと正直あります。何でもかんでも片仮名使えば、新しい概念を取り入れましたみたいな風潮は出ますけれども、分かりやすいなと思います、漢字は。
委員	リサイクル率の数え方として、各市で集めた段階での量で計算しているので、実はその時点ではリサイクルされたものではないわけですよね。そうすると印象的に、資源化率のほうが割と実態を正確に表しているのではないかなと思います。 それからリサイクルという言葉が間違った使い方をされているのは、最近ではリユースショップと言われるようになりましたけれども、ほんの数年前まではリサイクルショップと呼んでいるお店が多くて、それはあくまでリユースなので、リサイクルというのはおかしいというのは、住民の人たちもだんだん認識してきて、それがお店の名前に反映されてきているのかなと思っています。 あとは特にプラスチックの処理の仕方で、日本の場合はサーマルリサイクルが非常に多いのです。でも、そのサーマルリサイクルというのは循環型社会形成推進基本法との関係でいうと熱回収であって、リサイクルの段階のものではないわけです。そうすると熱回収して、それを燃やしてたくさん二酸化炭素を出しているのに、リサイクルだといってごまかしているような印象を受けるので、そういう意味でもリサイクルというのは、正確な意味で使う分にはいいのですけれども、不正確な使い方をするのであれば、この委員会の場でもできるだけリサイクルという表現は使わないほうがいいのかなと思います。
宮脇委員長	ありがとうございます。非常に貴重なご意見で、まさにそのとおりです。授業でも私もよく学生に勝手にリサイクルというけれども、技術的な話をするので、「皆さんはサーマルリカバリーと言いなさい」と、片仮名で書くときもそれを使ってねということは言っていますし、それよりは熱回収と書きなさいと、まさに言っていただいたとおりです。 何でもリサイクルは全て善だと定着してしまったところがありますので、注意して使うといいなと思います。委員の非常にありがたい意見です。いろいろご意見を頂くと、この市民会議の中の意識共有に非常につながるのでよかったなと思います。ありがとうございます。 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。もしよろしければ、まだ先がまだあって、今度グループ分けとか意外と時間もかかってしまいます。 最後にまたご意見を頂く時間がもしかすると取れるかもしれませんので、もしよろしければ少し先へ進ませていただきたいと思います。よろし

	いでしょうか。 ありがとうございます。それでは、「４　小委員会について」になります。こちらは２グループに分かれてリーダー、サブリーダーを決めていただいて、期の１年半ぐらいあるのですけれども、この間の活動をそれぞれ分かれてやっていくことになりますので、そのあたりの内容を今から進めてまいりたいと思います。 事務局より詳細についてのご説明をお願いいたします。
事務局	（４）　小委員会の設置について これから情報発信グループと減量グループに分かれていただきます。前期の減量グループ、情報発信グループの成果物につきましては、ファイルにとじられた資料をご覧ください。 生ごみ削減に取り組もうという浅川清流環境組合の建物が写ったものでございます。 これが前期の成果物です。情報発信グループとごみ減量グループに分かれていただくに当たり、各市４名の委員でお話合いをしていただきまして、どちらのグループに属するのか決めていただきます。希望に沿えない場合もあるかもしれませんが、その場合は両方の委員会に参加していただくことも可能です。 小委員会に分かれましたら、取りあえずの進行は行政職員の委員、栗原については、幹事市として両小委員会の様子を確認したいために、小澤課長と西村課長におのおのの小委員会の司会をお願いしたいと思っております。 最初に、小委員会に分かれてから、リーダーとサブリーダーを２名決めてください。各市から１名ずつ選出していただきまして、その３名の中でリーダー、サブリーダーを決めていただきたいと思います。必ず３市の委員が１人ずつ選出されるようにお願いします。 リーダーは小委員会の進行役を務めていただくので、よろしくお願いいたします。 本日は、小委員会の中で、今後取り組んでいきたいテーマなどを話し合っていただければと思います。全体会議の開催会場につきましては、申合せ事項に基づき日野市内、クリーンセンターで開催させていただきますが、小委員会の開催場所につきましては、３市いずれの場所でも開催できるとなっています。クリップ留めした資料の最後の資料を見ていただきますと、国分寺市で会議室を仮予約している日程を示してございます。小委員会の中で、この日程の合うところで決めていただければ、こちらの国分寺市の会場で小委員会を開催させていただく形になります。 それでは、まず各市の委員でお話合いを頂き、小委員会に分かれていただきますようにお願いいたします。 次回の日程やテーマなどを20分程度で話し合っていただきたいと思います。
宮脇委員長	各市で２グループに分かれていただいて、話合いをするということになってございます。よろしくお願いします。 ２つの小委員会に分かれて検討を実施

	≪情報発信・環境学習グループ≫ リーダー：　　山中委員（国分寺市） サブリーダー：未定（第１回の小委員会で決める） サブリーダー：未定（第１回の小委員会で決める） ≪減量グループ≫ リーダー：　　鴇田委員（国分寺市） サブリーダー：新井委員（日野市） サブリーダー：未定（第１回の小委員会で決める）
事務局	それでは各小委員会のリーダーから、一言ご挨拶とテーマについてお願いしたいと思います。情報グループリーダー山中さん、お願いします。
委員	情報グループは、私、山中がリーダーをさせていただくことになりました。サブリーダーは、欠席の委員が２人もいるということで、改めて最初の小委員会の場で決めることにしました。 テーマについては、議論する時間が全くなかったので、過去の成果物の情報を事務局に用意していただいて、事前に配布していただいて、各メンバーでそれを勉強し、最初の会合で十分議論して決めていきたいと思います。 日程につきましては、10月19日、月曜日。第一希望は午前で、それが取れない場合は午後ということで、第１回会合を行うことを決めました。
事務局	減量のリーダーの鴇田さん、テーマ等についてお願いします。
委員	減量グループのリーダーになりました鴇田と申します。よろしくお願いいたします。私は、前回は情報グループでやったのですけれども、今回、減量ということで。ただ、情報と減量といっても名前は違いますが、やっていることというか、スタートすることはほとんど同じだと。まずは情報発信から始めないと減量もできないだろうということで、そんなに減量という言葉とか情報という言葉にはこだわらないで、進めていきたいと思っています。 今日はテーマの選定ということで話合い、ほとんど時間は取れませんでしたので、次回は10月に予定しておりますから、10月と11月でもってテーマを何とか決めていきたいと思っております。
事務局	減量グループ、サブリーダーお願いします。
委員	サブリーダーは、日野市の新井さんです。新井さんも仕事をいろいろ持っていらして忙しいということで、本来ならリーダーをやっていただく予定だったのですけれども、サブリーダーとなりました。よろしくお願いいたします。
事務局	それでは、事務局からは、本日お配りした資料に関する質問や追加の資料請求などがありましたら、ご自身の市の事務局にご連絡をお願いいたします。 皆様から頂きましたご意見やご質問については、回答を取りまとめて、委員全員に回答を送付する形で情報を共有していきたいと思います。

	ご意見・ご質問等ありましたら、締め切りを一旦８月５日までとさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
宮脇委員長	皆さん、活発なご議論ありがとうございました。日程が決まった後で、リーダーの方、方針について取りまとめして、進めていただければと思います。 各市のホームページにはパンフレットとそれから冷蔵庫のチェックシート、それぞれの市のごみ・リサイクルのところあります。それぞれホームページでは公開されていることをお伝えしておきます。 ぜひ活発な活動をよろしくお願いいたします。 それでは、最後に次第の５でございます。「その他」とありますけれども、事務局より何かございますでしょうか。
事務局	次回の会議についてです。次回の全体会は、小委員会で話し合っていただいた内容の中間報告を行っていただこうかと思っております。小委員会が10月という形のところがございますので、11月の後半に考えております。まだ日程は決まっておりません。小委員会の進行具合を確認しながら、日程候補を考えていきたいと思います。 次回日程候補があがりましたら、メールでお知らせします。
宮脇委員長	本日最後に全体を通して何か進め方とか、委員の皆様方で何かここで言っておいたほうがいいなということがございましたら、お伺いしたいと思います。いかがでしょうか。
委員	３市で構成している浅川清流環境組合について、次の全体会の最初に少し時間を割いていただいて、建設に至る経緯など話していただきたい。
宮脇委員長	経緯をお話しいただきたい。どんなごみを運んできているか、可燃ごみはもちろん運んできているのですけれども、残渣類とかもそれぞれの市で違ったりしますので、どんなものが持ち込まれているかというところを含めてご紹介いただければと思います 時間があれば、見学もやったらいいかもしれません。 それでは、本日全ての次第はこれで終了とさせていただきたいと思います。この後の進行は事務局にお返しします。
事 務 局	それでは令和８年度第１回３市ごみ減量推進市民会議を閉会とさせていただきます。長時間に渡り、ご協力いただき誠にありがとうございました。